

◆発行/かんきょう新聞社

〒556-0022 大阪市浪速区桜川2丁目8-25-703

TEL.06-6568-8206 FAX.06-6568-8209

◆発行人/三田 陽平

◆編集・制作/NU design

- 7 -

平成18年(2006年)12月号<月刊> vol.34

かんきょう新聞

各地で行われた環境について考えるイベント

環境フェスティバル

いきいき八尾

環境フェスティバル2006

八尾市楽音寺六の大阪経済法科大で12日、エコカーの展示や「高安山保全プロジェクトシンポジウム」など盛りだくさんのイベントが楽しめる「いきいき八尾環境フェスティバル2006」が開かれた。

このフェスティバルは「環境先進都市」を目指し、行政と企業、市民などが一つになつて結成された八尾市の「環境アニメイトイドやお」(菅春水代表)が昨年に続き開いたもので、午前十時半から開かれたシンポジウムでは高安山の保全へ向けて作成したアクションプランに基づいた「アクション宣言」を行った。

さらに午後二時から八尾市内で二酸化炭素の削減に取り組んでいるグループの実践

例を紹介し、何ができるかを話し合う「省エネパートナーシップ・タウンミーティング」も開か



強い風が吹く中、舞台上で一生懸命に演じた「曙川東地区講念仏踊保存会」の子どもたち

れた。また同大ルーズベルト記念館前に設けられた特設舞台では、和太鼓

演奏の「子ども河内太鼓」や小学校十六校から約千五百点の応募があった「環境カルタ」の表彰式、歌謡・舞踊ショーが行われた。

同ショーに出演した「曙川東地区講念仏踊保存会」の女子小学生は「地域のオバちゃんげいこ場」にジュースやお菓子を持ってきてくれるのがうれしい。これからも踊りを続けていくと無事に演じ切った直後に話していた。

このほか会場には、環境にやさしい商品やエコカー、省エネ家電、高校生の生活環境マップなども展示され、八尾の仏事に出される伝統料理「いり豆ごはん」などを揃えた「食の循環」八尾の食文化の食事コーナー」も用意され、多くの客でにぎわっていた。